タイピックだより

11月号

2016.10.20 発行　Vol.47

十一月は暦の上では冬の始まりです。皆様は、この秋をどのように過ごされましたでしょうか。思い思いの秋を過ごされたことと思いますが、まだ秋の名残を楽しめる時期です。本格的な冬が訪れる前に、紅葉狩りや、いつもと違う道をドライブしてみるのも良いですね。

風に吹かれて散る葉を「風葉(ふうよう)」と呼ぶそうです。運命という風に流されて、散っていく儚い人生のようだと比喩されますが、実際は、しっかり枝にしがみついて、風が吹いても、なかなか落ちないのだそうです。そして、落ちることも、新しい世代の葉へ繋ぐ為の最後の役割だということです。持てる力を出し切るまでは落ちないというその粘りは見習いたいです。

例年、島根県で初霜が観測されるのも、十一月の下旬頃だそうですが、その頃は暖かな日があったり、急に寒くなったりと気まぐれに天気が変わるので、もう一枚着ようかと悩む日もあります。日中と朝晩、前日と今日の気温差が大きいこの時期は、自律神経が乱れ、体調を崩しがちです。服装で寒暖差をなくすようにする、体を温める食生活を心掛ける、運動をして筋肉をつける、ゆっくり入浴するなど、簡単に始められそうなことから試してみませんか。

お水の宅配始めました

環境にやさしく、おいしく安全な水を皆さまのご家庭やオフィスにお届けします。

ウォーターネットのウォーターサーバーは、いつでもお水もお湯もご利用いただけます。

ご用命は、担当営業にお問合せ下さい。

なくてはならない水だから
安心安全な水をいつもそばに

無料お試し実施中！

必要とされる人へ、必要とされる会社へ

株式会社 タイピック

〒698-0023 島根県益田市常盤町7番3号
Tel. (0856)23-2800㈹ Fax. (0856)22-5592番
http://www.typic.jp

社長のつぶやき

十月一日から島根県倫理法人会が主催する第十一回百日実践トライアルに文章を千文字書くか、「万人幸福の栞」を一ヶ条ずつ書き写すか悩んだのだが、今回は書き写すことにし、出張時も「万人幸福の栞」とノートを持ち歩き、早朝書き写しをおこなっている。

本を書き写すと腑に落ちると言われているが、ただ本を読むだけよりは、文章を覚えて書き写すことで確かに記憶に残りやすくなると感じている。一ヶ条書き写すのに約三十分から四十分、長い文章で一時間程度を要する。最初のうちは、早く終わってしまおうとすることだけに終始し、意味を味読しながら丁寧に書くことをしなかったが、それよりも、字の練習を兼ねて丁寧に丁寧に書き写すように心がけている。

今までにも、『心を高める経営を伸ばす』(PHP発行)や『長の十訓』(致知出版社発行)などを気ままに書き写してきたが、さすがに毎朝数ページ書き写すには根性がいる。

吉田松陰先生は本を書き写して学んだと言われているが、最近はパソコンで文章を書くことだけになり、手書きで文章を書くことはなくなったが、時々は手書きで漢字を思い出しながら書くことも必要なことだと感じている。

私は、毎朝『安岡正篤一日一言』(致知出版社発行)をはがきに書き写して一千九十五日(三年間)知人に送ることにしているが、このはがきも今日で六百八十八日となった。来年十一月の誕生日まで書き続けていきたい。この本で一番好きな言葉は「事業というのは、要するに人である。したがって、本当の事業は、事業でなくて「徳業」なのだ。会社の幹部になって事業を経営する人の人格、その気分、思想などが自然に集まって一つの社風というものをつくる」である。

ついでにもう一つ書き写しているものがあるのでご紹介したい。それは、致知出版社から毎日メールで送られてくる「一日一言」を今年の一月一日からノート書き写して学んでいる。

今日送られて来た文章は京都大学元総長平澤興先生の言葉「失敗の日は、人生にとってはむしろ成功の日よりももっと重大な意味のある日である。それは人生の再出発の日であり、人生にほのぼのとした味と深さを与えるからである。一度や二度の失敗にはへこたれず、その日を人生の再出発の記念日としてがんばろう。楽しいではないか。」上智大学名誉教授渡部昇一先生は「失敗や不運を自分に引き寄せて考え続けた人間と、他のせいにして済ますことを繰り返してきた人間とでは、かなりの確率で運のよさがだんだん違ってくる」とある。

このように日々教えてもらったことを忘れてはもったいない、日々読み返して自分のものにしたと思い書き写しをおこなっている。

わが社のほっとニュース

ブレイクタイムで効率アップ

タイピックの事務所の応接コーナーに設置されているお菓子の棚。このお菓子の棚は、社長が自腹で定期的に補充してくれます。

ブレイクするには丁度いいサイズの駄菓子が並べられており、ちょっとリフレッシュしたい時、仕事が一段落した時、残業の時などに利用することで、仕事の効率化にもつながり、また社内のコミュニケーションにもつながっています。

社内木鶏会 致知の感想

自らを省みて自ら変わる　山崎　鈴枝

松下幸之助さんは、自分の会社だけではなく『これからの日本』を考え次世代の事を心配し、それを行動に移す。私利私欲に溺れる事なく、老いても尚、後世の育成に心血を注がれた松下幸之助さんの姿を身近で学ばれた上甲さんのお話は感慨深いものでした。

「人生は自分の思い描く以上の結果は出さない」思いが小さいと努力も小さくなる、努力が小さいと結果も小さく喜びも小さい」といわれています。岡崎社長も常々思わないと何も得られない」と言われる様に、自分のビジョンをしっかり持ち、目前の事にとらわれるのではなく、思いを大きく高く持っていきたいと思います。

そしてこの記事の中に、すべての行動の原点は他人を思いやること」とあります。人生を通じて後世に残せる最大の志の実践であり人生の要訣であるといわれる様に、お客様のお役に立ち、そして喜んで頂ける様な価値のある仕事をしていきたいと思います。自らを省みて自らを変える勇気をもって前向きに生きていきたいです。

人生を成功に導くもの　大庭幸絵

この対談記事の中の山中さんが、ノーベル賞を受賞され、世間から注目されるようになった今でも謙虚さと慎重さ、そして向上心を持ち続けて研究に打ち込んでいることが素晴らしいと思いました。

受賞の時にも　まだまだこれからことおっしゃっていましたが、満足して終わるのではなく常に『これからだ』と思うことは大切だと思いました。そうすることで、新しい目標や今まで見えていなかった問題点を見つけることが出来るように思います。お二人の話の中に、予想外の出来事」に対して、どうすればいいのかが書いてありましたが、私も自分の考えと違う　予想外」にぶつかった時に『これは面白い』と思えるように、柔軟な考えと好奇心を持ちたいと思いました。

自らを省みて自ら変わる　三浦恵美子

上甲さんが言われている人生の要訣とは人を思いやる心と書いてありましたが、本当にその通りだと思います。自分の子供を見ても思うのですが、自己中心的な考え方をする人が本当に多いと思いますし、自分自身も自己中心的な考え方をしている時が本当に多いと感じています。子供にもよく話すのですが、少しでもイライラした時は絶対自分のことを一番に考えていて、思い通りにならないからイライラしてしまう。少しでも相手の気持ちを考えてあげるとイライラは治まると思っています。まずは自分が変わらなければいけないと多くの偉人達が言われていますが、まさにその通りだと最近つくづく感じています。思いが小さいと努力も小さくなる、努力が小さいと結果も小さいから喜びも小さい。それでは人生の本当の喜びは決して得られない。」とも言われていましたが、相手のために思いやる気持ちを大きく持てば持つほど、幸せな気持ちになる人が増え、自分も大きな喜びを得ることができるのだと思います。常に相手を思いやる気持ちを持ち続けるよう努力したいと思いました。

誕生日の決意

印刷事業部　三浦　裕子

アラフォーとやらはとっくに過ぎ、今やアラフィフの真っただ中。ここまで無事に過ごしてこれたこと、そしてここまで健康に過ごしてこれたこと、感謝です。そして毎年の健康診断の結果が気になる年頃です。

日々忙しさのあまり、中々自分を見つめるということがないですが、ふと思うと、今まで色々な事がありました。楽しい事、嬉しい事、辛い事、悲しい事、これからも色々な事が待ち構えていることでしょう。でもどんな事があろうとも乗り越えられる自分でありたいなと思います。人生で、出会う人の数は限られています。今まで出会えた多くの人に感謝し、そしてこれから出会うご縁を無縁にすることなく、大切にしていこうと思います。

やっぱり「笑顔」が一番。楽しい時はもちろん、落ち込んでいる時こそにっこり笑って前を向いて行けたらいいなと思います。

萩教室　後藤　清子

42歳を迎える私を悩ませているのが体力の衰えです。39歳で出産を経験し、家事と育児に追われる毎日を送っていると、肩凝りや腰痛に悩まされるようになってしまいました。何か対策をと考え、自宅でできる簡単なストレッチを始めたのがちょうど昨年、41歳の誕生日を迎えた頃でした。

一年たった今、継続できているかというと、三日坊主どころか一日坊主…。ただ、体は正直で、少しでも体を動かした日は良く眠れ、朝も気持ち良く起きられるようになりました。

「体が資本」と言いますが、年を重ねるとその言葉の意味が分かるようになってきました。

42年間不摂生な生活を送ってきた体は、そろそろオーバーヒート気味かもしれません。

子供を寝かし付け全ての家事を終えた後の貴重な自由時間に、自分自身の身体と心に向き合い、翌日も元気に過ごせるようしっかりメンテナンスしてあげようと思います。

ゆっくりやさしいパソコン教室

in平等院

宇治教室

中山貴志

9月22日、これまで宇治教室では、定期的な食事会はあったものの、みんなで旅行をするという機会はありませんでしたが、デジカメ講座の実践編も兼ねて、ご近所「平等院」で小旅行気分を味わっていただきました。

今回のイベント開催は、宇治に来てはや三年が過ぎるにも関わらず、いつも通り過ぎるだけの平等院を一度は見ておきたいという私の希望でもありました。

台風の影響であやしげな雲行きではありましたが、逆に観光客が少なく、当初予定になかった鳳凰堂も、長時間待たずして拝観することができました。

また平等院ミュージアムでは、コンピュータグラフィックスによる堂内再現映像をはじめ、国宝梵鐘、国宝雲中供養菩薩像、国宝鳳凰一対、重文十一面観音立像、市指定帝釈天像、市指定地蔵菩薩像と貴重な遺産を目にすることができました。

さて、目的の写真撮影の方は、十円玉で見られるお約束の鳳凰堂のショットだけでなく、平等院はどこを撮っても絵になり、参加された皆さんもついついシャッターを押したくなる風景ばかりで大満足で、二時間の予定だった探索の時間もあっという間に過ぎてしまいました。

そして歩いたあとは、もうひとつのお楽しみ♪辰巳屋（たつみや）のウワサの豪華なお弁当「宇治丸弁当」を、これまた豪華なお部屋でいただきました。

みなさん修学旅行の気分を味わっていただけたようで、これからも年に1度はこういう機会を宇治教室でも持てればと思います。

パソコン教室に行けば、日常の生活ではできない体験をすることができ、これからの人生の楽しみが増えること間違いありません。毎日たくさん仲間と会話をして、たくさん笑って人生を豊かにしませんか？

ぜひ一度教室に足を運んでみてください。皆様のご入会を心よりお待ちしております。